

# 新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日9月26日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、10月3日（火曜日）からです。

## 『なぜジョブズは禅の生き方を選んだのか?』

桑原 晃弥 他／著、PHP研究所／刊、請求記号：289.3/J,56

内容：ひらめきは「禅」の境地から生まれる-。数々の独創的な製品で世界をリードし続けたスティーブ・ジョブズ。彼の言葉を「禅」から見ることで、創造の秘密を明らかにし、その生き方に迫る。

著者紹介：1956年広島生まれ。慶應義塾大学卒業。経済・経営ジャーナリスト。著書に「スティーブ・ジョブズ名語録」など。

## 『お化けの愛し方 なぜ人は怪談が好きなのか』

荒俣 宏／著、ポプラ社／刊、請求記号：388/A,64

内容：お化けは怖い、というイメージはいつ生まれたのか？怪談の起源を探り、実は人間とお化けは仲良くなれるし、恋だってできるという「お化けと人間の新たな関係性」を語りつくす。

著者紹介：1947年東京生まれ。作家、博物学者。武蔵野美術大学客員教授・サイバー大学客員教授。「帝都物語」で日本SF大賞を受賞。神秘学・博物学・風水等多分野に渡り精力的に執筆活動続ける。

## 『魚だって考える』

吉田 将之／著、築地書館／刊、請求記号：487.5/Y,86

内容：魚だって考えているはずだ。でも何を、どのように？トビハゼの機嫌をとり、イイダコをけしかける…。魚が考えていることを知りたい広島大学「こころの生物学」研究室の先生と学生たちの、ローテクだけど情熱あふれる奮戦記。

著者紹介：1965年茨城県生まれ。広島大学で博士号取得。同大学大学院生物圏科学研究科・准教授。共著に「メジナ釣る?科学する?」など。

## 『30年にわたる観察で明らかにされたオオカミたちの本当の生活』

ギュンター・ブロッホ 他／著、エクスナレッジ／刊、請求記号：489.5/B,58

内容：カナディアン・ロッキーに現れた、あるオオカミ一家の盛衰を追った貴重な記録。臨場感あふれる写真とともに、「アルファ雄」「序列」「パック」といった従来のオオカミにまつわる概念を覆す、最新の知見を盛り込む。

著者紹介：イヌ科動物行動研究センターを設立。イヌ科動物国際シンポジウムを発足。

## 『きものとジャポニスム』

深井 晃子／著、平凡社／刊、請求記号：702/F,71

内容：西洋文化、とくに絵画とファッションにおいて、日本の<キモノ>は多大な影響を及ぼした。数々の衣服や絵画にその名残りをとどめ、その強い影響は現在にも及んでいる。ファッションを通じて美の東西交流の道のりを探る。

著者紹介：1943年生まれ。パリ第4大学(ソルボンヌ)で美術史専攻。服飾研究家、京都服飾文化研究財団名誉キュレーター・理事。元静岡文化芸術大学教授。著書に「ファッションの世紀」など。

**佐賀県立図書館** 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail [saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp](mailto:saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp)